

令和5年度第2回江南市子ども・子育て会議 会議録

会議名：令和5年度第2回江南市子ども・子育て会議

開催日時：令和6年2月2日（金） 午後2時から午後3時00分

場所：市役所 3階 第3委員会室

委員：出席委員11人

- 松尾 昌之（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）
- 杳名 珠子（その他市長が必要と認める者）
- 石川 勇男（関係団体の代表者）
- 伊藤 靖祐（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
- 今井 真澄（関係団体の代表者）
- 白川 裕羽（公募により選定された者）
- 滝 正直（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
- 永田 裕美子（関係団体の代表者）
- 能美 征司（関係団体の代表者）
- 野呂 美鈴（関係団体の代表者）
- 米山 桜子（関係団体の代表者）

事務局：坪内 俊宣（こども未来部長兼保育課長）

- 間宮 徹（こども政策課長）
- 真野 佳子（保育課指導保育士）
- 栗本 真由美（こども政策課主幹）
- 中村 由香（こども政策課副主幹）
- 横川 幸哉（こども政策課副主幹）
- 大脇 宏祐（こども政策課副主幹）
- 中山 亨哉（保育課副主幹）
- 大池 慎治（財政課副主幹）
- 田中 なおみ（こども政策課主査）

傍聴人数：2人

議題

- (1) 江南市立宮田東・藤里保育園の統合（案）に関するパブリックコメントの実施について

資料1 江南市立宮田東保育園・藤里保育園の統合（案）について

(2)第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の策定について

資料2 子ども・子育て支援事業計画の概要

資料3 江南市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（就学前児童）

資料4 江南市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（就学児童）

報告

(1)江南市認可保育所（（仮称）あずま・中央統合保育園）整備・運営事業者選定結果について

資料5 江南市認可保育所（（仮称）あずま・中央統合保育園）整備・運営事業者選定結果

(2)令和6年度組織再編について

資料6 令和6年度組織再編について

参考資料 行政機構図

部長あいさつ

会長あいさつ

議題1 江南市立宮田東保育園・藤里保育園の統合（案）について

事務局説明（資料1）

質疑なし

議題2 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の策定について

事務局説明（資料2～4）

質疑

委員 アンケート対象の就学前児童、就学児童各1,800人は、無作為に選ぶということか。

事務局 年齢ごとにバランスをとることはありますが、基本的には住民基本台帳から無作為で抽出します。

委員 回答内容により質問数は減るということだが、それでもかなり負担が大きいと思う。国が示した質問票のイメージに市が独自で加えた質問はどれほどあるのか。

事務局 質問の9割近くは国が示したイメージに沿ったものとなっています。市で加えたものとして、例えば、保育所を利用する保護者に対し、送迎の際の交通手段についてお聞きするもの、家と保育所と職場の望ましい位

置関係についてお聞きするものなどがあります。市立保育所の統合を今後もいくつか検討していきますので参考にしていきたいと考えています。

委員 広く市民から意見を聴き、施策に反映させることが重要。回答率はどれくらいを目指すのか。また、回答率を上げるための手法は何か検討しているのか。

事務局 前回5年前のアンケート調査は、紙のアンケート用紙を郵送し、返送していただく手法で実施しました。今回はオンラインのみで、令和2年の国勢調査では全年齢のオンライン回答率が45%程度で、就学前児童と就学児童の保護者という、国勢調査よりかなり若い世代を対象に実施することもあり、オンラインに抵抗がないのではないかと考えています。ただ、質問が多く、回答に30分以上はかかるということもあり、大きな項目ごとに区切って、少しずつ保存しながら答えられるようにしたり、保育園や小学校を通して回答を呼びかけたりするなどして、前回の回答率おおむね60%は確保したいと考えています。

委員 一市民からすると、面倒というのがあると思うので、広く意見集めるための施策をぜひ実施してほしい。

委員 無作為抽出でアンケート依頼の郵送を受けた方以外でも、アンケートに答えたい場合、参加できるのか。

事務局 例えばホームページ上で回答可能とすると、子育ての当事者以外でも誰でも回答できてしまうことになりますので、今回は、文書が届いた方のみをお願いしたいということで考えています。

報告1 江南市認可保育所（（仮称）あずま・中央統合保育園）整備・運営事業者選定結果について

事務局説明（資料5）

質疑

委員 応募は何件あったのか。

事務局 4者ありました。そのうち3者について2次審査を行っています。

委員 財務分析に関して相当点数が高いが、どのような点が評価されたのか。

事務局 資産を十分保有し安定した経営をしており、突発的な事項があったとしても、十分な体力があり耐えられるであろうという点が評価されています。

報告2 令和6年度組織再編について

事務局説明（資料6、参考資料）

質疑

委員 組織再編により、少子化対策を積極的にやっていくということだと思
うが、現在、実施している対策はあるのか。また、今後予定している
ものは。

事務局 現在は、具体的な取組は実施できていない状況です。今後、検討して
いくための組織再編となっています。

委員 藤が丘児童館が老人福祉センターの複合化に伴い廃止される。藤が丘
地区の子どもたちの居場所がなくなってしまう。今後、小学校を活用
するなど、児童館とは違う形でもいいので、子どもたちの居場所、受
入体制の整備を検討してほしい。

事務局 放課後の子どもの居場所については児童館以外にも様々な事例があり
ます。今後、公共施設全体で取り組む内容であると考えています。